

さかえ

正月号



栄村公民館弘報

N02

資料提供：花開孚夫氏(つくば市金田)
編集：木村 滋

旭台の曙

——栄村十景——

旭台は、中根台地が突出してゐる展望のさく丘。丘上に碑がある。

明治五年、実行教信徒達が建てた碑で、戦国時代、実行教の開祖長谷川角行が、応仁以降の乱世を挽回して國家を安寧ならしめんと、天下の靈場を巡拝して苦行祈禱の途上、此所に於て、旭日の初出を礼拝して祈禱の行を修められた靈地であると、刻んである。

傍に
たちかへり見るにうれしき朝日子を
をがむ教への新望のあと 実行之書
と、一首の和歌が刻まれてある。

眺この丘に登る。東天ほのぼのと紅して、旭日今や地平線を離れんとす。初光りに向つて、おのづから礼拝する心。旭台の曙は清浄である。

ほのぼのと初あかりして旭台

——酒井 隆——

目次

表紙	旭台の曙	栄村十景	浦田 正夫
題字		飯島 吉莞	
扉	解説	酒井 隆	
年頭所感	主婦の手帖		一四
大切な夢の土入	新年第一歩		一四
玄米換算表	近視眼		一五
小学校から	新語豆字引		一五
中学校から	農業共済の架		一六
特輯	学校と社会		一七
離乳は如何にするか	誌上宿題		一七
人事消息	農村青年連盟課題		一八
出産話農青連	村のNO・I		一九
卒業生の進路に就て	新年俳句		一九
農協ニュース	電話室		二〇
入選綴方	成人名簿		二一



年頭所感

栄村長 飯島 吉 堯
公民館長

昭和二十六年の新春に當り村民各位の御幸福を祈り上げます。去つた昭和二十五年度の我々の歩みを回顧します時、終戦五ヶ年という時の経過は各方面に色々改良、進歩の跡を見出すが、反面又幾多の改善すべき点の見受けられるのは否定する事の出来ない処であります。

時に経済的方面に於ては終戦後の異常なるインフレーションは殊に我々農民を刺戟し、敗戦という事実を免れ忘れさすが如き状態を招来せしめた。然るに其の夢未だ覚めざるに世情は再轉し、生活面に於て容易ならざる恐慌の様相が到来した感があるのである。今こゝに自分の生活面を顧み十分なる覚悟と新たな工夫をしない時は、我が身を舞臺の渦中に落し込み、將來悔のるともせんすべし。入るを計り出するを制すとは、経済の根本原理で、「入る」即ち収入は積極的に資本獲得の面を言ひ、「出る」即ち支出は消極的に冗費節約の面を言ふ。

この調節さえ円滑であれば、我々の経済生活は安泰である。収入の面は此処で免や再言ふ事の出来ない程重大で、又其の人に依り皆異り、論の外にするが、支出の面は頗る簡單で共通である。一言にして言へば、生活の改善即ち生活の合理化の問題である。此の生活の合理化が完全に行はれた時は、「出る」即ち支出の解決が完成したのであつて、我々はお互に助け合ひ励し合つて生活の改善をしよう。

丁度此の時果に於ても生活改善の面を大きく取り上げ強力で推進する事に成り、本村が其のモデル村として指命せられた。については今此処に其の方法につき聊か私見を述べ、村民各位の御批判と御協力をお願ひしたい。そもく個人が社会から離れて生活が無いと同じく村という單位も、近くの村々、大きくは県、國から孤立し

(2) して居ないのは當然で、此の意味からすれば、各個人が又本村が、異常なる生活の改善は出来ない。依つて我々々は簡單にして然かも実行し易い方法を掲げて進んで行き度い。

第一に時間の觀念について、 農村に於ては土と自然を相手として昔より生活して来た關係上か、氣候に對しては非常に鋭敏であるが、時間の觀念については割合無關心であるのは止むを得ない。然し之は過去の事であり、昨今の様に経営も相當機械的になり、又民主主義時代に於ては、政治的、文化的、経済的其の他各方面に人と人との交渉多くなり、時間を余程合理的に使はなければ、身体がいくつ有つても足りなくなつた。これほどしても時間に對する再認識が必要である。幸ひ本村に於ては他村にくらべて比較的時間につき関心が多い殊に公民館關係については其の感特に振舞い様であるが、まだ改善の余地ありと見受けられる。

第二、冠婚葬祭の問題 一般お互の生活でも、人への養分が派手であり、力不相応の事をしてあとでその費用の工面に四苦八苦し勝ちであつた。およそ人をもてなすのには、金ばかり沢山かけて派手な事をしたとて相手を満足さすものではない。却つて相手をして反感をいだかしむることもある。又疑惑をいだかしめ或はその人を輕蔑する事にもなる事がある。要はお客に對しての心からなるものでなしが大切である。物や金でなく心のまことから出た態度、礼儀、表情が整はなくてはならぬ。一杯のお茶、一個の茶菓子でも出し様によつて相手を感激さす事が出来る。特に改めたいのは結婚と葬式のやり方である。この二つのためには日本では今尚派手な金を使い、これをせぬと世間が承知しないと言ふ風習が残つてゐる。結婚式服にしても一生に一度着るだけのものに数万円を費し、お客に對し一人に数百数千円をかけたたりするなど特に改善すべき点である。

第三 予算を立てた生活 大きくは國、小さくは小会社などの団体は總て予算ある経営をして居るけれど、個人となると之は仲々行はれ 難い。それでも最近、予算を立て生活をしてゐる家庭が相當多くなつた概である。先日中学校の講堂で行はれた第二高校の「予算ある家庭」といふ劇を見て、家庭に於ても是非実行しなければならぬと感を得た。

第四、台所の改善
 今迄の三つの方法は経費の一切か、らぬ事であるが、之は多少の経費を伴ふものである。台所は各々の家庭に依り異り各自の創意工夫と経験者の意見を取り入れ改善する時は、一時は多少の出資を見るも長い間には費用の面、時間の面に於て利益あるは明らかなる事である。
 以上四つの方法を挙げ、私見を述べたが、外にも幾多改善の方法はある。要は百の議論よりも一つの実行である事を思ひ村民各位の絶大なる御協力をお願いしたい。

農事ノ七

大切な麥の土入

麥の土入れは、麥作栽培上重要な作業の一つであるが、寒前の土入の目的は
 第一に覆土の補正である。
 第二に、寒干害を防止して有効茎の増加を圖ることである。寒気そのものために傷害を受けるのを保護すると同時に、霜柱のために根を切断されたり、或は露出されるのを防ぎ、穂数の基礎となる有効分けつを増すことにある。

(3)

第三に、雜草防止で、麥の基間に生じた細かい雜草を埋没するため、殊に廣播さにおいては雜草防止の効果は大い。覆土の浅いものは、寒干害を多く受けるから是非寒前の土入れをやりたいものです。
 現在の成育で、葉幅は廣く長さは短かく厚く、葉が

わだれてゐるような成育をしてゐるのは、覆土の浅い場合に多いから土入れの必要がある。反対に、葉の長さが長く幅せまく、先端がとがって直立してゐるのは、覆土の厚い場合に多いから土入れの必要はない。土入れの効果は大いだが成育によつては、却つて害のある場合もあるから、麥の成育をよくみてから実施すべきである。

種別	玄米	大豆	玉蜀黍	蜀黍	粟	種籾	そば	きび
一俵の重量	一六×	一六	一六	一四	一四	一一	一一	一四
米石換算	四〇	四二	三〇	二七	二二	二四	一七	二二
産量(石)	二五	二六	一九	一九	一六	二〇	一四	一六

(4)



小学校から

教育課程研究会

去る十一月廿九日 第三次カリモユラムの研究会有り

りました。県からは講師として、教育長西野正吉先生、指導主任長坂和夫先生、新治出張所長の宮崎正朝先生、同主事小倉武夫先生の臨席があり、盛大な研究会を催す事が出来ました。研究発表の主なものは

- 一年 おともだち
- 二年 お店のしごと
- 三年 米村の道路と交通
- 四年 筑波山に登山しよう
- 五年 水戸日立に旅行しよう
- 六年 東京へ旅行しよう

これらの單元が各教室で、色々な形になつて、展開され非常に好成績を修めたのであります。(單元の詳細は、学校で印刷発行いたしました「教育課程」を参照して下さい)

本日は昨年より少なかつたのは、雨天のためと甚だ残念に思はれました。然し、遠くは那珂郡、衆島郡からもあり其の熱心なることは昨年以上でありました。これも村の入連の教育愛の賜物と感謝しておりました。去る十一月一日に、学校経営優秀校として戴いた表彰額が、職員室に高く輝いて居ります。益々児童の勉学のために活動する意気が高まり、幸福なる前途を祈るものであります。

ストーブの設置

寒い寒い冬が、北の國から訪かれて来ますと、身も心も縮みあがって来ます。今度小学校に、ストーブが低学年教室に設備されました。実は昨年から計画して居つたのでしたがその実現を見ず、今年度はその話が具体化され、理解ある村當局の同意によつて設備され、一年生達の長びは大変なものです。中にはストーブを知らない子供もあり、珍らしさと喜びで学校は集しい雰囲気を作っています。ストーブのない学校と、ある学校ではその学習面に関係する事は申すまでもありません。やがて全学年に備へられる日も近いでしょう。村民の皆様は暖い御協力をお願いいたします。



中学校から

実験学校研究会

去る十一月二十九日に、教育長西野正吉先生はじめ七講師を迎えて開催された、実験学校第四回研究会は、郡内は勿論、県一円にわたる多数の参加者を得て、英語教学を中心に学校経営全般にわたって、熱心な研究討議がなされ、教育長西野先生、郡出張所長宮崎生より好評を戴き、その実を充分に挙げる事が出来ました。父兄皆様方の絶大なる御支援に謝し、今後共御協力の程をお願い致します。

善行生徒の表彰

十二月七日、新治地方事務所に於て善行生徒の表彰式が行われました。本校からは第三学年平島忠男君が、その栄に浴しました。平島君は、校内外にあつて、自治活動に率先し責任感強く、友愛を旨とし、部活の人々より推賞され全校生徒よりは模範であるとして尊敬されて居りましたが、今度新治地方事務所長より表彰されたものであります。

子供発表会と表彰

十二月二十三日、子供会の発表会を行いました。子供達の劇、遊戯、唱歌等が演出されて第二学期の輝尾を飾るものとして、明るく楽しい催しでした。

なほその折、部落に於てよい行ひをしたものが、岡田会長より表彰されました。

部落名	中学校関係	小学校関係
上 境	酒井 文子	酒井 唯好
中 根	平島 忠男	香藤 正久
土器屋	岡田 守夫	里見 利夫
横 町	小松崎節子	飯島 義一
松 塚	鈴木 久子	
大	大久保正五郎	酒井よし子
金 田	黒田 つる	岩瀬 重雄
古 来	寺田 隆男	小神野弘士
吉 瀬	根本 只雄	根本 好

以上の者は、よく家事の手傳いにはげみ、責任感強く、友情に厚く、下級生に面倒がよく友達からも、部落の人々からも推賞されていましたが、今度表彰の栄を肩つたものであります。

(6)

尚 岩瀬よし 中島まつ 平島広子 平島芳枝、
本橋美代、金村米子 飯島たけ、久保田光子
酒井文子、小松崎秀子 沼尻まさ、佐藤明子
以上の生徒は公民館の草取を奉仕し、さきに村長さんよりおほめの言葉を頂きましたが、今度再び、子供会長から表彰されました。

冬休について(家庭へお願い)

二学期も二十三日で終了し、二十四日より一月七日まで冬期休業に入りますが、気持ちのゆるみと、娯樂の少くない冬期の事でありますので、子供達の遊びはいきおい遊興に流れ易い傾向があると懸念されますので土浦方面への外出は止むを得ざる限り出さない様注意して頂き、又、新年の事でもありますので、映画や芝居も数多くあると思いますが、夜間の外出は禁止してありますから、家庭でも特に御注意下さい。尚各部落に於ての集會等は担任教師、部落校外指導委員の方に相談の上実施する事になつて居るのでよく御指導願います。又、休業中の三年生の補修も、二十四日より午前九時半から午後三時まで、一月一日を徐々実施する事に決定し、目下実施中ですから御承知下さい。

特 輯

白菜献上

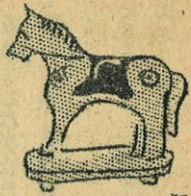
農業表城の特産品を代表する 本村の猪球白菜が、本年も、天皇皇后両陛下に献上御奉納の光栄に浴しました。

十二月十八日、久松組合長、宮本農青連委員長、大津生産部主任、藤沢園芸部長代表等四名が上京、宮内廳に出頭、謹んで献上して参りました。村民一同再度の光栄を胸深く刻んで精進努力を誓つて止みません。

入 賞 の 新 記 録

高等農事講習所鯉淵学園に於て、去る十一月開催されました農産物品評会に當村より白菜等を出品した処、出品総数千数百点の中より堂々左の着が入賞し、実に百パーセント入賞の記録を樹立しました。

白菜 特等賞	酒井 喜一	葱 壹等賞	豊島源之進
白菜 壹等賞	豊島 実	大豆 叁等賞	五頭 武雄
白菜 壹等賞	久松 源吉	味噌 貳等賞	豊島 実
白菜 貳等賞	大久保隆一		



親御さん方へ御注意

離乳は如何にするか

岡田 久

子供を育てるのに一番骨が折れ且つ一番困るのは離乳期であり離乳はそれ程難かしい事であると同時に、子供にとつては一番大切な事柄であります。

即ちこの時期こそ將來子供が健全に發育するか否かの一大岐路であり、世の母親は苦い経験を多く持たれる事と思ひます。若し此の時期をつまづく事なしに難題に過し得たならば、母親として子供に対する哺育任務の大半を果してたと言つても、あながち過言ではな

いと思ひます。
離乳は、生後六〜七ヶ月頃から徐々に始めて、生後二年位迄には普通食餌をとる様にすべきであり、一足飛びに御飯ち与へたり、又不消化物は絶対に与へてはならぬ。私は次の方法で離乳を進めて行く様におすす

めしたい。
一 高乳の手始めには、第一に果汁一〇瓦を一日二

回与へ、便通に故障がなければ「カルゲット」を与へる。カルゲットは離乳期の副食物として必要な糖分、糊粉、蛋白質、カルシウム、脂肪、鉄分等の配合が割方注意されてあるので、離乳期以外にも永年消化不良症の恢復期は勿論、消化不良症の治療食として理想に叶つた品と思ひます。

二 離乳期には初めカルゲット半個分から二個三個と漸次、増量して、果汁二〇〜三〇瓦と共に与へる。果汁を好まぬ乳児には哺乳毎にカルゲット一枚宛、一日三〜四回与へ、漸次三〜四枚と増量する事であり

ます。
三 以上の方法で便通に故障がない時は味付濃厚湯、味付おまじり、粥等を少量づつ与へます。

四 哺乳時、味付濃厚湯五〇瓦位とカルゲット二〜三枚与へて次に、哺乳させます。哺乳量は母乳はかりの時より加減する事が大切であります。この様な食餌を一日二回だけ持続して漸次一回一〇〜二〇瓦と増量し、一〇〇瓦に及んだ後は御飯粒をコト匙一匙より始め、おまじり程御粥程度として一日二回位適當な時期に与へます。

(8)

五 おまじり、粥等につける副食物は 六 卵黄鹽

節又は雞肉の煮出しで茶碗蒸か王子豆腐 四 野菜
大根人参は仰して煮、食塩鹽節砂糖で味付、ほうれん草は茹で、馬鈴薯豆類は茹でて皮をむき、うらこしする。魚(内)の軟らかい魚を煮るか蒸し白ソースをかける。テン類も好適、尚以上の外パン、シヤムバターをつける。豆腐類等もよろしい。

六 便通の変化を見つつ卵黄、野菜等の御粥につけて一日三回、一回量一五〇〜二〇〇瓦と漸次増量し、母乳は午前十時午後三時位として同時に果汁、カルゲットを与へて徐々に離乳します。

七 離乳時、常に注意すべき事は乳児の体重で、離乳を始めてから急に体重が減じる様な事があれば、よく其原因を追及して一日も早く適當な方法を講じなければなりません。

皆様におわかりになるやう、簡単に書きました。もし詳しく知りたい方は何卒遠慮なく、筆者の宅を訪れて下さい。

人事消息 (十一月分) 戸籍課

出生の部

出生月日	氏名	大字	父母との続柄
一一、一五	柴沼久美子	中根	孝雄 さん 長女
一一、一七	酒井みどり	土器屋	錠 たら 長女
一一、二四	酒井美知子	大	久雄 君子 長女
一一、二七	沼尻 和子	古來	昌雄 徳子 長女

死亡の部

死亡月日	氏名	年令	大字	筆頭者との続柄
一一、二一	酒井富三郎	七六	土器屋	酒井 保 父
一一、二六	酒井 たい	七九	大	酒井伊右エ門 母
一一、三三	沼尻 しな	五〇	横町	沼尻 軍一 妻
一一、三〇	比岡 よむ	七九	金田	比岡 孝一 母

婚姻の部

大字	氏名	配偶者氏名	備考
中根	柴沼 文子	天 高田 慎三	黄波郡大穂村大字玉取へ
横町	高梨 千代	天 市川 定一	北條町へ
古來	久松 とみ夫	張替房次郎	新治郡七倉村大字上橋吉へ

土産話

農青連



白菜卸売会から

十一月二十六日二十七日の両日、連盟員十名出勤の上、水戸商工会議所前に於て、本村名物白菜の卸売会を行ひました。その結果

○ 米村の白菜は商工会議所二階で開催されてゐた農産物品評会の出品物より遙かに優秀であつた。

○ 或一人の新潟県人が白菜に見とれて、二時間余り立ち止り、新潟まで持つて帰ると言つて居た。

○ 二日目は早朝より買氣強く、二時頃までには全部引張り取で売り切れてしまつた。

豊收性大豆の種子

水戸で開催された農産物展示会のお土産として、豊收多收性の大豆の新品種が、農青連の手により米村に感入致しました。來年秋には村民の皆様にお目見えすると共に、種子をお領けしたいと考へてゐます。

品種名

仙台福

無肥料にて

三石ニ斗

東川

三石

「日本一」の感激

名実共に「日本一」の折紙をつけられた本村の白菜が、今年も再び、両陛下に献上御嘉納の光榮に浴しました。一匁二匁入、計四個のほまれの白菜は、農青連会員が丹精こめて作り上げた逸品三〇点の中から、厳選されたものであつて、一同米村に生れた嬉びに感激の涙を新たに致しました。

優秀農業技術交換会

本村より軽部秀男、塚本太美男の両君を派遣して、一泊吹かしむべきスランであつたが、その参加報告書は次の様な内容であつた。

水稲栽培大豆秘農経営に關し、五名の体験発表あり。何れも地域別特性を有する農業経営に限定された栽培方式であり、或は、深耕多肥或は温床育苗、早期一本疎植を説き、或は、多肥多勞が偶然天候に恵まれて得た素人百姓の多收獲であるに過ぎなかつた。爲に、兼業栽培を多分に取り入れてゐる本村の農業経営に照した場合、にわかに入導し難き点が多く、一応の体験談として聞くべき物はあつたにせよ、参考価値の乏しさに落胆せざるを得なかつた。



卒業生の進路について

栄中学校長 猪俣 三 郎

三年生のお子さんをお持ちの父兄方は、卒業後どうするかという点について御心配の事と存じます。そこでそれらの事を出来るだけ簡単に申述べたいと思ひます。卒業後は家庭の事情や子供の能力をよく考へて進ませたい。農家だからその子供は百姓にする、という行き方は是方だけの考へである。長い子供の一生を、このような宿命的な職業観をもつて律したくはない、子供にはむきむきの個性をもつてあります。その能力や健康にぴつたり合致した職業につけた人は、毎日の職業生活がほんとは楽しく幸福な生涯をおくれます。その反対の場合には申し上ぐる迄も無い事です。職業を選ぶ事は、人生にとつて最も重大な事で、幸不幸の岐路に立つわけですから、よくよく考へて進ませたいのです。今まで農村の中学校では農業だけ学習させました。しかしこれでは前に申上げた通り生徒に宿命的な職業教育だけす

ればい、というかたよつた行き方ですので、本年から新しい行き方に變りました。即ち栽培、飼育、漁、食品加工、手技工作、機械操作、製図、文書事務、経営記帳、計算、調理、衛生保育等多方面の学習をさせて、生徒が自分の最も適した進路を、選択出来るようにさせる事になつたのです。この教科を職業家庭科と申します。実験学校である本校はこの教育計画も果下にさきかけて立案し、新しい方向にいち早く轉換して実施してゐます。去る九月この研究会にも果下最優秀であると、指導課の先生からおほめの言葉をいただきました。しかし前に述べました十二項目の内容から考へましても、相當の設備が必要である事はおわかりになつた事と思ひます。精神教育をあまり重視しすぎていた従來の結果は、大平洋戦争によつて疎く反省させられました。鉛筆とノートだけではたゞ空虚な知識だけの教育しか出来ません。実際に生徒が目で見、さわ

つてみ、やつて見る教育でなければ効果が上らないのです。これは職業家庭科ばかりでなく、すべての教科に通じ、学校全体に通じる事です。私は深く生徒を愛し生徒の幸福を第一に願っています。そのためにも生徒が学習しやすいような設備、先生が教えるような設備を一日も早く充実したいと念願してゐます。

一日も早く充実する事は、それだけ生徒が身についた学習が出来、それだけ幸福になるという信念をもつています。本校も村常局の御理解により新しくその緒につきましたが、皆様の御支援により、本校教育計画の実現出来るように、設備の充実を切にお願ひ申し上げます。高等学校進学についても重大な関心をお持ちの事と思ひます。これまで他校に勤めていた時中以下の生徒が三年の終り頃になつて、急に申し出る場合がありました。私としては出来るだけ希望を叶えてあげたいと思つても、期日もなく大変困りました。進学希望のお子さんを持つ父兄の方は中学一年からよく学校に申出て、絶えず担任の先生と連絡していただきたいものです。一年から三年までその心構を勉強すれば、能力相応の進歩をして必ず目的を達することが出来ること

思ひます。去年は国語、数学、社会、理科の四科目について適性検査がありました。今年はまだ決定しませんが、更に図画、工作、音楽、職業家庭科等についても総合的な問題が出来る模様です。しかし毎日毎時間の学習を真面目につづけなければ出来ると思ひます。職業生活も個性に合っていないと毎日の生活が生気を失つてしまふと同様に能力のない生徒を無理に進学させることは決して子供の幸福にはなりません。子供の能力より遙かに高い学習に耐えられないで、学校の生活は大さな重荷になつてしまふ場合があります。子供の幸福を第一に考へたい。人生の不幸は学校を出たから出ないからによつて決定するものではありません。私はすべての生徒が学校生活をたのしみやうにしたいと常に考えています。一部の生徒だけ特別に扱かつて優越感をもたせ或一部の生徒はのけ者になつて、最もたのしい思い出深い学校生活である者なのに、卑屈感をもつた暗い少年の日をすごすような生徒をつくりたくくないと常に念じています。



農協ニュース

茨城農民総参加貯蓄運動の具体化

いよいよ茨城農民総参加貯蓄運動米村委員会が具体化しました。貯金は誰れの為でもなくみんな自分の為です。それが農協を通じてなされて初めて、私達の組合が、私達の経済が豊かになります。

去る十一月三十日公民館に於て協議会を開催し、左記の如く、委員会の構成及運動要項が決定されました。

委員会構成

- 委員長 村長
- 副委員長 農業協同組合長 村会議長
- 常任委員 各生産組合長 農協理事 常設委員
- 委員 助役収入役 中学校長 小学校長 各農業者製委員 農協参事 煙草耕作組合長

- 委員長 PTA会長 子供会長 婦人会長 青年
- 会長、村会議員 農協顧問

運動要項

1. 各部落生産組合長会議の開催
2. 貯蓄推進委員会の開催
3. 部落座談会の開催
4. 全戸訪問の実施
5. 常任委員事務局の担当区域を定め、各種目別貯金の設定を行ひ、具体的実施方策を推進する。
6. 軍協信用向上に関する処置

白菜葉摘算額(単位)

月日	葉松	松	竹	梅	花
11.13	142.92	129.84	92.04	78.80	63.1
11.22	131.85	115.02	91.40	79.70	60.59
11.23	111.88	104.44	79.30	61.06	36.19
11.25	138.58	118.90	99.70	79.30	58.90
11.26	134.60	106.67	76.40	72.50	44.40
11.27	122.70	111.40	100.30	76.89	64.60
11.28	116.64	90.58	71.20	65.50	65.20
11.29	126.34	108.40	90.14	74.20	58.60
12.1	170.60	129.10	109.90	91.80	75.60
12.3	222.60	197.82	167.40	134.40	109.80
12.5	272.92	207.88	152.22	133.40	117.60
12.15	240.90	221.40	191.10	149.80	茶
12.17	264.1	249.1	206.40	180.60	134.40
12.18	236.50	216.60	187.10	135.80	126.30
12.19	221.88	200.16	155.40	125.60	90.60
12.21	205.80	176.70	138.1	101.40	87.54
12.22	249.12	196.80	163.20	118.20	102.60
12.23	236.70	209.90	152.20	120.50	90.30
12.26	256.10	229.50	179.1	144.1	151.1
12.28	314.80	285.10	247.60	194.1	135.30

〇米、雑穀類価格決定

皆様供米に就ては御苦勞様でした。政府の買入価格が左の如く決定されました(單位一俵)

種類	壹等	貳等	參等	四等	五等
玄米	二、三〇〇	二、二五〇	二、二〇五	二、一四五	二、一九五
大豆	二、二八〇	二、二〇〇	二、一八〇		
五穀系	一、〇五五	一、〇二五	九、五五		
そば	七、八三〇	七、八四〇	七、八四〇		
あり	九、三三〇	九、二四〇	八、五四〇		
蜀黍	九、九三〇	八、八四〇	八、三四〇		

備考 12月20日までの標準は220kg

〇表彰と入選

◇功勞者 藤沢三郎氏は、農業協同組合創立三週年紀念大会に於て、斯界の功勞者として、栄えある表彰をうけられました。

◇貯蓄優良組合 本村農業協同組合は、十二月十五日、第三週年大会に於て、県連合会長より、貯蓄優良組合として、表彰状並に金一封を授与されました。

◇額方入選 栄小学校五年一組の五頭童子さんは、三週年紀念行事として、票に於て募集した額方に美事入選、二等賞の栄冠を勝ち得ました。

入選綴方

私の村の農業協同組合

五年一組 五頭 童子

私の村の協同組合は、村のはゞ中央の横町という所にあつて、前は、果道になつています。車馬の通行がひんぼんな、一番にぎやかな通りです。村の人達が利用するのにはほんとうに、便利な所です。私達の部落は、組合から南方に、約四キロ程離れたるので、いろいろと不便な事もありますが、近所から、組合へ勤めてくる人がありますので、なにかと連絡をとつて下さいますから、大変良い都合です。組合には、十人位の人がをります。貯金を扱う人、いろいろな物を売る人、その外畜産を扱う人、生産を取り扱つてくれる人などに、仕事を分けて、働いております。特に私の村は、野菜の指定地になつておりますので、野菜の採り人は、今は白菜の出荷で、目の廻るような忙しさで、
 ⑧のマークのあるトラックが、しきりに白菜を、積み出してあります。勿論県外まで、私の村の白菜は運ばれていきます。東京の市場では大変評判がよい

（14）
 そうです、組合では近頃五トンもつめる、大きなトラックを買つて、白菜をどんどん、東京の市場に運んであります。組合員が売つた野菜の代金は、皆んなめいめいの貯金通帳に入つて、組合から、何時でも、いだけけるようになつております。又貯金のお金は、大変組合の役に立ちます。組合の人達は、私達の野菜をなるべく、高く売れる所へ持つて行くように、あちらこちら、市場へねだんの問合せなど、なにかと心配して下さいますので、ほんとうに村の人達には、大変便利な所となつております。私達の貯金も扱つてくれます。大人の人も、子供も、ほんとうに、嬉んでおり、なくてはならない所です。

私達も頑張つて、益々私の村の協同組合を立派に育てたいと思ひます。

手帖

主婦の

古い折目のとり方

着物を縫直した場合に、元の折目が消えないで困る場合は半紙を細く切つてそれに大根おろしの汁を塗り、古い折目の上にのせて上からアイロンをかけますと折目が簡単になくなりませす。



新年第一歩

婦人会

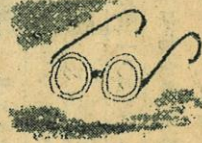
昭和二十六年を健康で堅実な歩みを踏み出すために、第一に保健衛生の座談会を催し、各家庭の保健につとめ、明るい一年のスケジュールを立てませう。猪、農村に必要な作業衣を作る丈夫な布地は、どうしても手織が最高と思はれますので、織物の講習会を開くことになり、講師は会員中より、技術の達者な方をお願ひし、農閑期を利用して計画実施する予定です。

旧臘十二月四日、中根支部では、支部長副支部長はじめ、中村会長外、金田支部より三名参加、バスを買切り、午前六時中根前出発、初冬の大きを切つて大東京に乗り込み、放送局を見学、第一スタヂオ、第二スタヂオで新智識を満喫、上野動物園ではすっかり子供にかへり、なほ浅草寺を廻り、午後七時帰村。日頃余りに家庭的に忙しすぎるお母様方も、理解と和合の明るい団体人として、楽しい一日を過ごしました。

十二月八日、土浦第二高等学校生徒の家庭研究発表会（ホームフロジエクト）が茶中学校で開催されました。

台所やかまどの一寸した工夫による改善や、衣料品のお古の更生、経済の無駄を省き、生活を科学的に向上させようといふ若い学徒の、情熱と研究によつて生み出された色々の発表や劇の実演などあつて、大変に有益で興味ある催しでした。

生活改善のモデル村として県から指定を受けた本村として、私運婦人会は、率先して、旧習の打破や新しい暮らし方の立て直しに、力を合せなければならぬ。矢先、色々の点で、今更ながら子供達に教へられた感がありました。當日お出下さつた先生方のお話によりますと、家庭部の先達達が、夏休みを利用して、自発的に協力完成したものであつて、家庭生活にががに根を下ろしたこの種の研究こそ、時代の主婦として本腰に反省且実行すべき要点ではないでせうか。猫の手も借りたい取入れの最中にも抱らず、多数の会員が參觀に來られました事は、心強い限りでした。



近視眼

ニツケル不足

政府ではニツケル不足に対処する為、先般來総司令部當局に対して、これが輸入を特に懇請中であつたが、此のほど、戦務物資として重要なニツケルに付、内需用に關しては医療器具品以外は使用してはならないとの内示を受けた。

このための安本通産關係官庁で協議の上、近く省令として内需用ニツケルの使用制限を發する事になつた。これによつて特に例を上げれば自轉車部品の中のハンドル、リム其の他メツキを生命とするものは大打撃を受けることになつた。従つて今後、最悪の場合は、代用メツキか又は全体器又りの製品が出現する可能性が強い。（工業近況ニツケル制限について）——商工会

新語豆字引

リクリエーション（英語）

休養、保養、娛樂。最近では勤勞大衆が仕事の余暇を有効に樂しむためにあらゆる種類のスポーツ芸能等を行ふ新生活運動を指して云ふ。

農業共済の棗

○共済掛金率と掛金

共済目的	最高共済金	總掛金率	組合員負担率	團庫員負担率	反当掛金
水稻	三、二〇〇円	四八・六二%	二六・一六%	二二・四六%	八三・一〇
陸稻	一、六〇〇	一六・三二%	七・九五%	八・三三%	一・二七・九二
麥	二、四〇〇	未決定	二・三二%	未決定	五・五・六八
蚕繭	一、六〇	・六・六一〇	三・四六〇	一・一五〇	五・五・三六
家畜	貸借價格三割共済金額	三割四角五分	三割一角五分	二割五分	掛金率〇・五%

○家畜死亡費用共済

	共済金額	掛金率	掛金	團庫員負担
牛	一〇〇〇〇円	一・一%	一一〇円	半額
馬	一〇、〇〇〇	一・四	一四〇	半額
猪羊	三、〇〇〇	六・八	二〇四	なし
豚	三、〇〇〇	六・三	一八九	なし

○共済金交付割合に就て

共済目的に対する事故（損害）の程度に依り、下の通り共済金が支拂れます。

○本年度の共済実績について

家畜	死亡費用に対し共済金額の全額
水稻	九〇%
陸稻	八〇%
麥	七〇%
蚕繭	六〇%
家畜	五〇%
合計	四〇%

支拂保障料	保険金	共済金	摘要
水稻	一六七、七二六円	二六七、六一八円	二五年度分
陸稻	二、九五二	なし	被管無し
麥	一八、三三三	二〇四、五七九	廿五年度分
蚕繭	七、三〇〇	六、九四八	廿五年度分
合計	一九六、三一一	四七九、一四五	五三二、三九三

これは組合員の保険料を連合会に納める金額、これは被管に対して組合に來る保険金、これは皆様に拂ふ共済金額



学校と社会

栄小 酒井 邦夫

教育と言へば、直ちに学校教育が考えられ、教育者と
 言へば、教師が考えられるのが普通のようにです。そ
 して、更に進んで学校教育のみが教育であり、教師の
 みが、教育者であると考え込まれています。このやう
 な考えが、全く誤りであることは申すまでもありません。
 学校以外に於て、言いかいれば、社会に於て、教
 育は、常に進行しているのです。普通に、学校教育
 に対して、家庭教育が考えられております。我々は
 ここでは、学校に対して、社会、即ち家庭をも含めた
 社会を考へ、その学校化、教育化について、少しの考
 を行つてみたいと思ひます。社会を通して、社会への
 教育とは、常に考へており、教育のわらわいが、国家の
 外に、家族社会、地域社会、職域社会、国際社会など
 大小様々な社会があります。然る個人は、これからの
 社会を作るものであり、又作り得る者とならなければ
 ならないのです。この事は誰しもが、お判りになる

でしょう。我々が、ここで言いたいことは、学校の社
 会化、即ち学校の郷土化ということであり、学校
 と子供、家庭が一体になる事です。これまでの、学校
 の社会化は、社会の地域的(郷土的)風習(個性)に
 ついて考へられましたが、社会は又時代、時代によつ
 て変りその個性について、考へられるものです。学校
 の社会化は、社会の時代的移り行くにつれて考へられ
 なければなりません。常に我々は児童の幸福と將來を
 考へ、理想的人間の姿を画いて、教育に當りたいと努
 力しております。去る十一月の研究発表会に於いて、
 発表された研究の数々もその表でありました。友号に
 はその実録面活動面を記してみたい考ひです。

誌上宿題(筆画)

前号の解答

栄村に直接関係を
 持つ左の数字に就
 て答へよ
 三三六一果樹合
 三四一三三
 三五五九
 ○解答は弘報係まで

○田螺の勝、○理由蛇の窒息死
 茂類に蓋を開けてある田螺を蛇
 が呑まんとしてくわいた途端
 田螺は驚いて蛇の鼻孔諸共上あ
 ごをしめつける。蛇がもぐもぐ
 もがけばもぐもぐ程田螺は高れな
 い。遂に螺は窒息死する。



農村青年連盟の

課題

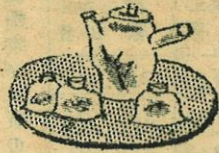
五頭 武雄

其の一、結成の動機

今日の農村に於て農村恐慌の到来を叫び之が打開に
 ついてはあらゆる方策が計画されつゝ、はありますが、
 何と云つても之が解決の原動力をなすものは我々農民
 自身の力の結集であり、協同組合の健全なる発展にま
 つこそ最大の急務である。故に至つて協同組合の拡充
 の一端をなすべき青年層の活動が大いに期待されるに
 至り、農青連の結成の必要性に迫られるに至つた。か
 くの如き現下に於て農村の結成以前の青壮年の実態は
 どうであつたかを回顧するに、只單に青年会産業部の
 極部的活動に過ぎなかつた実状下であり、年令の制限
 された地域的団体である為にや、むしろ形式的事業
 にのみ終つてしまふ点なきに非ず。その上青年会を退
 会するとよく世間で行われる、「青年会を退いたら忌
 に大人らしくなつて若さを失つた」という言葉を耳に

するが之こそ新らしい村づくりを阻止してゐる一つの
 原因ではなからうか。此の言葉は何を意味しているの
 か、村が村は果下一を誇る肥沃なる耕地を有し苦勞せ
 かに相勤の收穫を得る事が出来た為、農業技術に対す
 る研究心に乏しく、又地形、交通に便なる裕福なる村
 として生活に苦しむと言ふことも少く、その為経済面
 にも無関心になりがちであつたと言ふ実情によつて青
 年の農業経営についての関心を眠らせていたのではな
 からうかと思ふ。然るに、かゝる本村の農業経営も今
 日に於ては急激にその行きづまりの徴候が現れ、其の
 一例として蔬菜園芸即ちトマト、白菜の栽培普及は目
 覚しい進歩を示しつつあるとは申せ、其の反面之が栽培
 が今後何ヶ年有望だらうかという点を考へるならば、
 或る部落の実状をみるに寒心に耐へない事実も現れて
 いる状況であり、又大小麥、大豆等に於ても減收の一
 途を辿りつゝ、ある現状を見ても既に本村が誇つた地力
 と反響収量は過去の夢と化し、今こそ過去の経営に終
 止符を打つて真剣に之が打開を考へねばならぬ現狀に
 至つた。このまゝでは新らしい村づくりは愚か、農村
 不況の底力にたゞ、きのめされることは火をみるより明

かであると感じ、一刻も早く青壮青年層の結果を図り協同組合を中心とした農青連の活動による外に途なしの気運が高まり、村内の青壮年三十八名の同志の加盟の発足をみるに至つた次第です。(以下次号)



村のNO.1 (三)

永年勤続者の巻

本村に居住する給与所得者の中で同一職場に、最も長く勤続してゐる

第一人者を挙げるならば、先ず、上方製材所に勤務する、中根部落の福田達夫氏であらう。

福田氏は、明治廿八年、六月一日生で、満五十四七ヶ月である。身長五尺六寸、体重二十貫、現在箱堂々たる体格は正に、稀に見る偉丈夫である。

氏が上方製材所に就職されたのは、大正四年で、実に足掛三十五年の経歴の持主である。かつて、県知事より三度永年勤続の表彰をうけられたことがあり、その精勤振りは、讀んで余りあるものがある。同氏の人生、必ずしも平坦ならず、不遇不幸の中に

あつても、黙々として志をまげつ、小利に走らず、よく節操に徹したる奉職の精神は、真に見上げたものである。製材技術又老巧にして近在隨一の名声を持ち、未だ赫しやくとして壯者をしのぐの意気がある。氏よく酒を愛す。うべなるかなと言ふべしとかく、いたずらに大成を夢み、事に飽き易き県民性を考へたとき、淡々として終始一貫、一職場に身を捧げるといふ福田氏の如き、永年勤続者は、実に、まね難い粘りの人であり、又村の誇りとして忘れてならない存在といふべきである。

新年句集

窗固めや辭を重むて今日もまた、晋雪
 つきあげし羽子を夕日の捕へたる、霞花
 事務初めのインクの壺を満しけり、暮村
 薫打や動きそめたる曉の色、たかし
 初詣り先づ兎も角も氏神に、水哉
 供米の牛車籠きてバスを止む、清揉子
 彼の寺ときめて晴衣を縫初めす、茶雪
 一山の手洗深き初葉師、月泉
 大御空もゆるが如し初あかね、夜
 初夢は言はぬがよしと旅に立つ

電話室

村から家庭へー 家庭から村へー

◇役場増築、——役場(新公民館)増築工事は、今回工事委員滿場一致の決議により、高津町柳沢源之助氏(吉瀬柳沢卷一氏令弟)を工事請負人と指定契約成立、愈々本格的着工の予定です。請負金は五拾六万円、完成の時期は二月末日です。設計図其の他詳細な事は、二月号でお知らせ致します。

◇米糶穀補正割當、——二十五年産米の部落別の補正割當が左表の通り決定されました。

区分	前供出割當	正供出割當	補正割當
上境	314,923	283,848	
中根	420,389	391,762	
土居屋	284,109	251,315	
松塚	320,087	306,069	
大土坪	285,086	283,054	
大下坪	327,952	322,921	
横町	135,118	129,182	
金田	435,314	434,345	
西坪	109,159	96,585	
古来	632,027	621,343	
吉瀬	438,836	438,576	
計	3,703,000	3,559,000	
増収量	193,295		差引補正減
減収量	337,295		144石

◇公民館視察、——土浦市多田副議長及西各婦人会長(茨城県社会教育委員)の両氏は十二月一日、公民館視察のため来村

◇新治郡公民館運営研究会、——十二月十五日葦穂村に於て開催された。

◇煙草増産便り、——昭和二十六年度の作付許可反別が決定しました。黄色種五町歩、達麻種一町九反歩で、断然米兼に轉換すべく、火力乾燥場の建設のため組合員は懸命の努力中です。

◇浦田西伯轉居、——村民皆様の親しみ深い浦田正夫先生は住み馴れた上境台の退居と別れて、十二月二十日、土浦市敷島町三三二四番地(電話七七〇番)に轉居されました。猶令夫人も十二月限り中学校から退職されて、家庭の主婦として画伯の内助に励まれる事になりました。

◇消防団聯合点検、——西部地方聯合点検が、十二月二十四日、藤沢村に於て行はれました。友未知事はじめ、原、金塚、菊田の各代議士等多数の臨席あり、本村よりは、久松団長以下団員百名が出席、各種演技を展開し、寒風をついて烈々の消防精神を高揚した。

一月十五日

成人証書を受ける人々

◇役員の新補充と訂正——前号で発表した公民館役員のうち、左記の如く補充訂正いたします。

企画部委員 宮本勝延 産業部委員 五頭武雄
野部いわを 奉仕部委員 本橋三千男 塚本ぢやう
保健体育委員 塚本多美男(元教養部) 藤沢こう
教養部委員 豊島松男

◇税金層——一月の納税は、第三期村民税と第三期の所得税(但し農業者以外)です。月初めから心掛けて頂いて、完納を期して下さい。

◇青年会両部長——青年会文化部長酒井実君、同社会部長大山忠雄君の両君は十二月三十日、飯田町並に藤沢村へ、結婚轉出されました。

◇銀カツラ——栄村道路改善委員会は、実績顕著に依り、十二月廿六日、県知事より、銀カツラ並に金一封を授与され、表彰されました。これ実に、村民皆様の道路愛護精神の結晶と固く信じて止みません。

◇新年短歌会——来る一月十四日(日)午前十時より◇火の用心——恐ろしい火事季節となりました。焼けたら最後です。お互に火の用心に心掛けませう。

◇「弘報」はとび紐で綴冊も綴つて保存しませう。

- | | | | | | |
|-----|-------|-------|------|----------|-------|
| 上境 | 酒井いち | 酒井敏子 | 大 | 塚本節子 | 塚本利子 |
| | 酒井はま | 酒井利三郎 | | 大山美子 | 大久保義雄 |
| 中根 | 柴田珠江 | | 横町 | 軽部静男 | |
| | 本橋文江 | 宮川有允 | | 大塚久雄 | 沼尻さぬ |
| | 石黒さみ子 | 平島三郎 | 金田 | 沼尻富美子 | |
| 土器屋 | 米柄喜一郎 | 米柄省一 | 木村はな | 比岡喜久 | |
| | 飯島さよ | 飯島正直 | 古来 | 小島孝男 | 沼尻あい |
| | 飯島ひさ | 飯島重四郎 | | 黒田福次郎 | 豊島幸雄 |
| | 平島秀男 | 岡田憲子 | | 菊地三郎 | |
| | 島崎 清 | 石渡直以 | 吉瀬 | 柳沢 清 | 根本晴子 |
| | 飯塚 仁 | 大山せき | | 上方清次 | 上方信子 |
| 松塚 | 久保田博 | | | (以上 四一名) | |

編輯後記

朝鮮動乱を身近に感じながら、生産、供出、営業納税等々、大きな仕事を成し遂げて来た私達は、今茲に新しい昭和二十六年を迎へたのであります。

半信半疑、一喜一憂の割り切れない世相の中にあつて、免も角も、公民館の建設はじめ、いろいろな事業が、次々と押し進められて来た過去一ケ年を顧みると、今更に、小さな個々の結果がもたらす推進力の偉大さに、おのづから胸にこみあげてくるものがあります。

激しい動乱の波が、いつ押し寄せて来るにしても、私達は、私達の村づくりに、生産に、大きな希望と努力を失つてはなりません。

弘報の「さかえ」は食しながら、第二輪を迎えました。村の様子を知つて頂くため、又村民の意志を表現するため、より健やかに育てて行かねばなりません。とうき、活潑な声と、たくましい建設の御意見をお寄せ下さい。

(大久保記)

『原稿募集』

- 一、村民の声 意見希望批判見聞等簡明なる物
- 一、工夫の泉 工夫発見発明等々 独創的なる物
- 右何れも二百字以内 一人各一篇ずつ
- 一、電話室原稿 三、四行を限度とする 報告通信行
- 一、事實疑問答等簡単な交換記事
- 一、論説研究詩歌句等其の他弘報に関する記事。
- 一、締切は毎月十日、届先 役場内弘報係宛
- 一、原稿の取捨撰別は委員会に一任の事

『さかえ』 第三号

昭和廿五年十一月三日 創刊
昭和廿五年十二月廿日 印刷
昭和廿六年一月一日 発行

発行人 栄村公民館弘報委員会
印刷人 土浦市城中城町九一九 電 四八九番
かすみ 啓 字堂